



# 三木高大 自治会新聞

平成 29 年 3 月号 (No. 131)

発行 三木市高齢者大学学生自治会  
発行責任者 自治会会長 金丸 正  
編集者 自治会新聞編集委員会  
発行日 平成 29 年 3 月 9 日  
<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

## 高大の思い出

丁度 4 年前、期待と不安を抱きながら、学びの郷みずほの満開の桜と先輩、来賓の皆様を迎えられ、三木市高齢者大学に入学しました。

これまで歩んできた分野、生活環境は違うが、豊かな経験を積んだ人達が、同じ立場で楽しく学び、遊び語り合いながら交流を深めて行けることが非常に嬉しく感じ、我々の活動テーマを DA125 (出会い 25) と決めて各種の行事を楽しみました。

今、頭の中を色々な事が走馬灯のようによみがえってきます。

特に、体育祭においては勝敗にこだわるのも大事ですが、応援合戦に熱が入り、暑い夏休みに一生懸命練習したことで、仲間意識が更に深まり、強い絆で結ばれました。私たち 24 期生は、非常に纏まり良い学年であったと自負しております。これはお互いに相手の気持ちを考えて、行動しているからだと思います。卒業後、皆さん進む道は違うかも知れませんが、4 年間で培った絆を、更に発展させて行きたいと思っています。この経験から人生最後まで学ぶことに加え、いかに楽しく遊び交流することが大切かを学ばせてもらいました。

体育祭では一度も優勝することが出来ずに残念でしたが、4 年生でグラウンドゴルフ大会に優勝できたのは、大きな喜びでした。

一番の思い出は、やはり北海道「道央 2 泊 3 日」の卒業旅行です。天候にも恵まれ事故もなく、本当に楽しいものでした。登別温泉での散策は地獄谷の由来通り、地中から煮えたぎった泥水が噴出する様が絶景でした。洞爺湖温泉では有珠山ロープウェイからの洞爺湖と羊蹄山の素晴らしい眺めが最高でした。2 日目の小樽市内・小樽運河の散策は、むかし若い時に観た映画のシーンを思い出するようなエキゾチックな感じが素敵でした。3 日目の大倉山展望台から見るジャンプ台、札幌市内は雄大で圧倒されました。

最後の観光地は「少年よ、大志を抱け」で有名なクラーク博士の像が建つ羊ヶ丘展望台でした。皆さん右手をかざして写真に納まりました。観光も楽しみでしたがやはり夜の宴会です。歌あり、踊りありで夜の更けるのも忘れ全員の絆が一層深まりました。

最後になりましたが、岩波学長はじめ事務局の先生方、在校生の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。別れは悲しいですが、お別れです。

副会長 4 年 2 班 漁 晴毅



## 卒業生に贈る言葉

ご卒業おめでとうございます。4年間にわたる学生生活を無事過ごされ、その後の方向も決められて、ほっと一息ついたところと拝察いたします。

私たちが入学して以来、自治会行事やクラブ活動などの学生活動に対し、親身になってアドバイスや、懇切丁寧な指導など、多くのサポートをして頂いた事、更にはグラウンドゴルフ大会や体育祭ではライバルとして優勝杯を競い合った事など多くの事が、昨日のように懐かしく思い出されます。また4年生のチームワークの良さは、私たちの目指す目標でもありました。本当にお世話になりありがとうございました。

卒業後は、大学院や他の高齢者大学に進まれる方、ボランティア活動や学友会での活動を目指される方など、新たな道を進まれることになると思います。

『人生の本舞台は常に将来にあり』、『長生きとは、長く生きることではなく、楽しい日々を長く過ごすことである』との先哲の言葉通り、これからが高齢者大学で得た多くの知識や人との交わりを生かす人生総仕上げの本舞台です。お元気で楽しい日々を長く過ごされ、私たちの目標として大いに活躍されることを祈念して「贈る言葉」とさせていただきます。

副会長 3年5班 渡邊 昶彦



## 教養講座だより

### 最近のニュースから

講師：神戸新聞 論説委員 岸本 達也 様

私たちは毎日、新聞・テレビ等でニュースを知り、喜び、感動、共感、不安、不信感、怒りを覚えます。

ニュースにも、政治、経済、国際、社会、文化など様々あります。今回の講座では、新聞を作る側からの見方、考え方の苦労話も教えていただきました。

今、関心のある最近のニュースとして、トランプ大統領の言動に対する国民の対応、メディアとの確執があります。

政治問題には何が良いとか悪いとかは、考え方、見方、立場によって違うこともあり、結果は先になって表れる。引き続き関心のあることです。

国内ニュースでは、文科省の再就職問題、自衛隊の報告書紛失問題があります。規則に反することを国の偉い人たちがやっていることに不思議を感じます。しかも国民には知らされない事柄も多々あるのではないかと、不審に思っています。

最後に災害について、阪神淡路大震災では、三木市内でも大なり小なりの被害を受けた人がいます。

災害は、時間と共に忘れられることもありますが、南海トラフ、山崎断層の危機もあり「備えあれば憂いなし」を教訓としたいです。

今回の講座を参考に、これからもニュースに関心を持っていきたいと考えています。

1年3班 岡部 晶次



## 専門講座だより

### 園芸学科



やさいさん

こんにちは

園芸学科は盆栽と野菜作りの二部構成です。私は今年で二年目のまなびとなります。盆栽講座は、森脇正和先生の下、松竹梅などの枝の伸ばし方や止め方、切り方、植え方など、実践では挿し木の仕方、寄せ植え、草花の添え方などのほかに紙粘土とセメントを使っての鉢作りとか、みんな賑やかに盆栽作りを楽しんでいる教室です。

野菜作りでは、小田芳三先生の下、季節ごとの野菜作りの管理、害虫駆除や薬品の使い方などを学び、園芸クラブでも実践しています。植えて育てた野菜を収穫できる喜びと食する楽しさで心が満たされ、収穫物への感謝で一杯になります。盆栽作り、野菜作り、共に土作りの重要さや育てる過程の大変さ、水やりの大切さとか虫・風などから守り、愛しんですくすく育てると願い、喜び楽しみながら講義を聴いて命の大切さを学んでいます。皆様も新学年になったら園芸学科と一緒に勉強してみませんか。私はこの講座をこれからも楽しみたいと思っています。



盆栽の整枝の様子

2年3班 村上 ひろえ

## 人物紹介

語り部：被爆体験と昭和史

神戸空襲を記録する会々員

1年3班 島田 晴夫 さん

被爆と聞くと、すぐに「広島…」と言われるが、「神戸でも大空襲による大変な被爆があったのです」とおっしゃる島田さん。

空襲は毎日のようにあったが、小学校6年生のある時、飛行機がいつもよりかなり低空で向かってきたため、私を狙ってきたと思い、強い恐怖感に襲われた。地鳴りのような爆撃音の中を逃げ惑いもう死ぬかもしれないと思った。今でも生き残ったのが不思議だと思ってしまう。学童の集団疎開が始まり、母親との別れに話が及ぶと、島田さんはたまたまハンカチで目をぬぐわれました。明日の命も知れぬ中、もう二度と会えないかもしれない、という辛く悲しかった思いが脳裏に浮かんできたのでしょうか。

このような体験を多くの人に知ってもらいたい、との思いから「神戸空襲を記録する会」に入り、語り部を始めたとのこと。

語り部としての活動は5年前から始まり、母校の小学校では毎年、そのほか大学の同好会、中学校や三木市のいくつかの小学校でも数年前から語られています。学校での話の終わりには、「友愛、敬愛の気持ちを忘れてはなりません。そうすれば、いじめも戦争も起きません」と締めくくるそうです。昨年は「神戸大空襲の犠牲者を悼む合同慰霊祭」で被爆体験者や遺族ら110人の前で被災体験を語られました。

一方で、島田さんは地域社会への貢献がしたいとの思いが強く、「粟生線サポーターズくらぶ」の運営委員としても活動されています。信念を持って前向きな活動をされている島田さんの姿勢は、私たちも大いに見習わねば、と感じた次第です。

1年1班 幸岡 義信



## 大学祭の報告



自治会行事の最後を飾る第25回大学祭が、2月25日(土)・26日(日)の両日にわたり開催されました。好天にもめぐまれると共に26日の神戸新聞の朝刊に紹介されたことにより、大勢の来場者でにぎわいました。

クラブなどで一生懸命頑張ってきた1年間の成果を、演技部門では晴れ舞台で発表されました。また、展示部門ではお互いの作品を鑑賞し、褒めあったり、和やかな光景が見られました。さらに自治会活動・大学・大学院等の活動状況を判りやすく紹介したパネルの数々で、高大に入ろうかなと思われた方もあったのではないのでしょうか。



コーヒー喫茶も大盛況で係りの女性の方も忙しくご苦労様でした。

今回は、後片づけを当日行う事になり、多くの皆さんに遅くまで、ご協力いただき有難うございました。

大学祭の開催は、高大生全員の参加なしでは出来ない行事です、各クラブ・自治会役員・大学祭実行委員・準備委員・大学事務局の皆さんに厚く御礼申し上げます。

大学祭実行委員長 3年5班 馬場 由和

## パソコンクラブ



パソコンは、今から35年ほど前にそれまで個々のOSを使用したものからマイクロソフトのOSを搭載することで統一された。この時から事務用として使用されるようになり、パソコン時代が到来した。

文書作成にはWord、表計算にはExcel、プレゼンテーション用としてPowerPointなどが普及、Emailは作成したドキュメントが即座に相手に送れる便利さも手伝い、FAXや郵便の代わりに通信手段となった。

しかしながら、今日ではいつでもどこでもコミュニケーションやネット検索ができるスマホやタブレットにとってかわられ、パソコンの役目は減少してきた。

しかし、自分オリジナルなCDやDVD、友人に紹介するきれいな文章、自分独自のホームページ、アルバムの作成にはやはりパソコンが便利です。キーボードからの文字入力は、画面を叩く入力に比べ正確で早く便利です。

若い人は親指だけで猛烈に早く入力しますが我々高齢者はそうはいきません。両手の10本の指を使い入力しますと正確にできますし、指を動かすことでボケ防止にもなります。現在学生部員32名、OB/OG52名でスキルアップに励んでいます。

パソコン初心者の方は基礎から経験のある方は自分好みの講座で勉強できます。補講を月2回開催していますので困ったことがあればすぐ解決します。年に一度の募集です。3月末まで募集しています。

ホームページ <http://koureisyadaigaku.cccp.jp/miki10/pasokon28/newpage1.html>

パソコンクラブ部長 4年3班 小池 正憲

### 編集後記

4年間新聞の編集を担当させていただきました。貴重なご意見もいただきましてありがとうございました。これからはホームページで閲覧させていただきます。

紙面がさらに充実し、楽しい新聞になることを期待して筆をおきます。

4年新聞編集委員 小池 正憲・中西 富美